



園田学園高等学校 特別進学コース
特進 NEWSLETTER 第33号 2010年2月

お待たせしました。特進コース2期生 合格通知第2報です。

- ★立命館大学 政策科学部 政策科学科
- ★関西学院大学 人間福祉学部 社会起業学科
- ★関西大学 社会学部 社会学科
- ★関西大学 文学部 総合人文学科
- ★近畿大学 経営学部 商学科
- ★京都産業大学 外国語学部 イタリア語専修コース
- ★甲南大学 文学部 人間科学科

合格しました !!

1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験。

数学ⅠA や化学Ⅰなどは、昨年度より大きく平均点が下降し、試験直後や自己採点后に、多くの受験生が不安にかられました。本校の生徒も全く同様です。「先生できなかった・・・」「どうしよう・・・」当日の夕方、こんなメールが次々にきました。

センター利用・センター併用・一般入試。関西の私大の入試方式は多彩です。入試方式・入試科目・試験の配点。どの大学のどの学部を、どの方式で受験するのが一番、合格の可能性が高いのか。このデータ分析と、最後の決断が私大入試の結果に、大きく反映しました。

ある生徒が合格したのは、すべて「センター併用型」。つまり、センターでの得点と、その大学の個別試験の結果の合計点で合否判定がされる入試です。

- 立命館大学 センター併用5教科型 合格。
- 関西学院大学 関学独自方式(センター併用) 合格。
- 関西大学 センター中期(センター併用) 合格。

しかも、関西学院大学から届いた合格通知には、何と「入試成績が極めて優秀でしたので、初年度授業料の半額相当額を給付する、入学時育英奨学金の採用候補者とします」とありました。

また、甲南大学を5出願した生徒がいます。「一番合格の可能性の高いのが、センター併用。絶対、これは落としたくない!」と受験に臨んだところ、3つの方式から合格を得ました。

- 甲南大学 センター併用 S日程 合格。
- 個別 A日程 合格。
- 全学部 E日程 合格。

関西大学合格。これを受け取ることができただけで、十分満足でした。しかし翌々日、関西学院大学からも合格通知がきました。しかも、「関西学院大学 入学時育英奨学金」の採用候補者の一人に選ばれていました。飛びあがって喜びました。関西大学に合格し、関西学院大学に奨学金の採用で合格し、これ以上のご褒美はないと思いました。

ところが、その次の日、私の最も望んでいたものがインターネットを通して、渡されました。第一志望校・立命館大学からの「合格」の2文字でした。私は立命館大学に4回挑戦し、この時点で3回落とされていました。今回も落ちたらもう半ば諦めていました。そんな状態の中、合格だと知らされても、全く信じられず、何度も何度も自分の受験番号とPCの画面に映し出されている合格者受験番号を照らし合わせました。

模試の結果は常にD判定かE判定。センター自己採点の結果でもD判定で、受験する意味があるのかどうか、とさえ思っていました。しかし、今回、粘った甲斐があり、やっと立命館大学に認めてもらえたと確信したとき、一気に涙があふれ、なかなか止まりませんでした。嬉しさのあまりあれほど泣いたことはなく、第一志望校に受かることがこんなにも喜びを与えてくれるものとは思いませんでした。

私にはまだ京都府立大学の受験が控えています。この受験が終わるまでは、あくまで受験生です。第一志望校の私立大学が受かったからといって怠けることなく、国公立大学の合格通知も手にすることができるように、これからも勉学に励みます。

<O・Mさん 園田学園中学校出身>

教室の黒板の上。クラス全員の写真とともに置いています。



「今日は、A子が入試。」「今日は、B子の合格発表。」 毎朝、目が覚めるたびにカレンダーを見て確かめます。センター・自己採点・出願校最終決定面談・出願・私大入試・・・ **祈・全員合格**。このハードな日々が必ずや報われると信じて、毎日を過ごしています。

立命・関学・関大と3つの大学から合格通知を得た生徒は、本学園中学校出身。英語が大好きで得意で、外国語学部の進学をめざしていました。高3になってから視野を広げ、「政策」「地域」「公共」といった分野に興味をもち始め、私大なら立命館、と、公募推薦から受験を始めました。不合格3回。そのときは、「ウン、大丈夫」と全く涙を見せなかった彼女が、4回目に「合格」の2文字を得たとき、涙が止まらなくなりました。そして、関学からは、入試成績優秀者奨学金の採用が付帯された合格通知。我が生徒ながら、あっぱれ、心より拍手を送ります。

センター試験でどれだけ、得点を上積みできるかどうか。これを実感した私大入試でした。受験の神様は、簡単には笑いかけられません。これからが国公立大学の入試です。「もう一歩上」をめざして、私大後期入試に挑むものもいます。関係者のみなさま、本校の受験生を暖かく見守っていただき、ありがとうございます。まだまだ、入試シーズンは続きます。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。

特別進学コース主任 小林 ひかり